

RSウイルス感染症に注意しましょう!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	↗ 50	49	ヘルパンギーナ	↓ 26	49
咽頭結膜熱	↓ 10	17	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 48	34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 25	56	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 222	345	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 65	74
水痘	↓ 3	10	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 97	121	無菌性髄膜炎	↗ 3	2
伝染性紅斑(りんご病)	↓ 29	31	マイコプラズマ肺炎	↓ 5	13
突発性発しん	↓ 35	49	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- 流行性角結膜炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

手足口病 : 有明、山鹿、菊池  
流行性角結膜炎: 熊本市

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所		26		9	42		26	8	14		7	6		56		3	4		
山鹿保健所		2			10		8		2			3	*	*					
菊池保健所		3	3	1	43	1	17	3	9		6	6		5					
阿蘇保健所													*	*					
御船保健所				1	19			1					*	*					
八代保健所		5	3		18		3	6	2		1	2					1		
水俣保健所		1		1					1			1	*	*					
人吉保健所				2	20		3	2				9	*	*					
有明保健所		6	1	2	44	1	31	3	4		1	20		1					
宇城保健所		7	3	8	13	1	2	1	1		4	1	*	*					
天草保健所				1	13		7	5	2		7			3					
計	0	50	10	25	222	3	97	29	35	0	26	48	0	65	0	3	5	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	50	3	11	24	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	10	0	0	2	0	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	0	0	1	3	1	4	4	3	3	1	0	3	0	2						
感染性胃腸炎	222	5	17	34	25	16	16	17	10	14	10	9	31	6	12						
水痘	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
手足口病	97	0	10	48	21	10	2	3	0	0	0	0	0	0	3						
伝染性紅斑	29	0	0	1	4	3	6	4	5	3	0	1	2	0	0						
突発性発しん	35	1	19	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	26	0	4	11	5	1	1	2	1	0	0	0	1	0	0						
流行性耳下腺炎	48	0	0	3	2	9	19	5	6	2	1	1	0	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	65	0	3	4	1	2	0	3	1	2	2	1	3	0	9	18	6	4	4	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1				
マイコプラズマ肺炎	5	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

RSウイルス感染症に注意しましょう

RSウイルス感染症は、8/24~8/30の週から増加傾向にありますが、9/7~9/13の週より、ほぼ同数が3週連続で続いています。RSウイルス感染症は、乳児が感染する感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ全ての小児が感染するといわれています。特に、生後6か月以内の乳児がRSウイルスに初めてかかった場合、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を起こすことがありますので、注意しましょう。

【症状】  
鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快するといわれています。多くは軽症で済みますが、重くなる場合には、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難などの症状が見られ、場合によっては、細気管支炎、肺炎を起こすとされています。特に、生後6ヶ月以内の乳児が初めて感染した場合、重症化する場合がありますといわれています。

【予防策】  
・流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない。  
・症状のある家族はマスクをする。  
・外出後の手洗いをきちんと行う。  
・子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤で消毒する。

